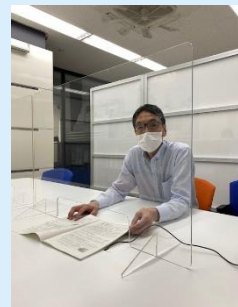


「こんなことになるとは・・・」船越

例の感染症拡大防止のため、各事業所では様々な対応をされていることと思います。当所でも、職員が出勤し入室するときには検温したり、所内での席と席との距離を離してみたりしています。この距離については、人手不足で、もともと事務所内がスカスカだったのが幸いているという皮肉な状況です。手指の消毒に関しては、SARSの時から、消毒液スタンドを入りに設置していました。そんな中、新たに施した対策がアクリル板の設置です。ネットで検索してみると、まさに百花繚乱。大きさから厚み、スタンドの形容などや、肝心の価格まで見れば見るほど???そして、なんといっても透明度が重要なのに、ネットの画面では透明すぎると映らないので、少し色を付けた写真が掲載されているという不思議な世界。最後はお手頃価格のこれ!といった感じで購入しました。幸いそここの商品だったので、追加購入も検討中。それにしても、所内にこんなものを設置する時代が来るとは・・・



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【ロイヤリティ】

特許権・商標権・著作権などの権利を持つ者に支払う使用料のこと。「ノウハウの伝授に対しロイヤリティを支払う」「1回につき10%のロイヤリティが発生する」といった名詞的用法で用いられる。「王権」という意味を持つロイヤリティ (royalty) と、似た表記となるロイヤルティ (loyalty) とが混同されるが、後者は「忠誠心」と訳され、企業やブランドへの愛着を図るマーケティングなどに使用されるので注意が必要である。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【テレワーク制度を導入した際の手当と税金】

最近では多くの企業がテレワーク（在宅勤務）制度を導入するようになりました。しかし、自宅で通常の業務を行おうとすれば電気代やインターネットの通信費など「それまで発生していなかった費用」が新たに発生する事態となります。そこで今回は、本来ならば負担しなくてもよい経費を従業員に負担してもらった場合、それを在宅手当として支給する際の税金の取り扱いを考えてみましょう。原則的には会社が従業員に支給する金品は、給与や賞与といった名目に関係なく給与課税の対象となります。



ただし、業務の遂行上必要なものであり、本来は会社が負担すべき費用の実費を支払うのであれば「通常必要とされる範囲内」で課税されません。つまり従業員が業務の使用量に応じて通信費や光熱費などの明細を提示し、実費を精算するような場合は非課税となります。一方、会社が業務に必要な費用の補助として一律に従業員に在宅手当を支給する場合は給与課税の対象となります。実際にはなかなか難しいとは思いますが、従業員それぞれに実費を精算してもらったほうが給与として課税されないで社会保険料などの負担も軽くなります。そのためこれを機に実費精算のルールを作ってもいいかもしれませんね。何よりテレワークは自己管理がとても大切です。くれぐれも体調管理には十分に気を付けましょう。

今を生きる

先人の言葉

危機の中では
成長し
危機の中では
本ものになる

仏教詩人である坂村真民の言葉。この後に続く言葉は「だからこそ危機を避けるな。むしろ危機に立ち向かう心を養え」。困難を乗り越えるのではなくバネにしよう。

トレンドを斬る!

災害時に備えた食品の備蓄の方法のひとつである「ローリングストック」が注目を集めています。普段の食品を多めに備蓄し、

食べた分だけ買い足していくことで常に一定の量をキープします。決しておいしいとは言えない従来の非常食とは異なり、いざという時にいつもと同じ食事は精神的な余裕も生みます。例えば日清食品は定期的にカップヌードルを家庭に自動配送するサービスを開始しています。自然災害と共に生きる私たちを、多くの企業が本気で応援しています。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【美しく、長続きして、世のためになる仕事】

僧侶であり歌人でもあった良寛は「古い」と白髪を結びつけた歌を多く残しました。「白雪は降ればかつ消ぬしはあれど頭に降れば消えずぞありける」は、自らの老いを自覚した良寛が「白雪は降るそばから消えてしまうが、髪の毛に降った白いものは消えてくれないことよ」と詠嘆した一句です。



良寛でなくとも「髪の毛に降った白いもの」は嫌でも老いを感じさせます。年齢を考えれば自然なことでも、鏡を見るたびに「また増えたかも・・・」と気になります。仕方ないと思いつつも気になってしまうのは白髪ばかりではありません。例えば人のクセ。特に同じ屋根の下で暮らす夫婦の場合、仲が良いときは黙って見逃せる相手のクセが、ひとたび雲行きが怪しくなると途端に気に障るようになり、つい相手を責めるような物言いをしてしまうことはありませんか?髪の毛に

降った白いものが消えないように、人の性格もそうそう変わりません。アンチエイジングもこだわりすぎれば息苦しくなり、人のことも「こうあるべき」と言い出したら人間関係がぎくしゃくします。

冒頭の歌は、良寛が自分の老いを自覚して詠んだと書きましたが、良寛は白髪自体を嘆いたのではありません。自分の白髪頭に苦笑して、老いを笑い飛ばしているのだと思います。

このご時世、気になることは山ほどあるでしょう。けれど「白髪を気にして抜くと白髪が増える」と言われるように、心配事を数え始めたら、心配が心配を呼んで不安ばかりが大きくなってしまいそうです。自分のことも人のことも、商売の先行きも、肝心なのは気にしすぎないことではないでしょうか。答えのないことを考え続けても、いたずらに時間が過ぎていくだけです。自然の摂理を詠んだ良寛の句に「花無心にして蝶を招き、蝶無心にして花を尋ぬ」があります。花は無心で咲き、蝶も無心で花を尋ねる。仕事も同じく、無心でする仕事こそが美しく、長続きして、世のためになるという意味です。心は熱く、頭は冷静に、今できることに集中して、今日も心穏やかにいきたいですね。



トナリの

本棚



【店長がバカすぎて】

全国の書店スタッフから「描写がとてもありアル」と驚きの声が集まった作品です。店長に振り回される書店スタッフの京子を楽しんでいると、物語はいつの間にかミステリーに!ちょっと残念な上司に悩まされている人におすすめの一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎